

## 2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信[IFRS](連結)

2025年10月28日

上場会社名 株式会社アドバンテスト

上場取引所 東

コード番号 6857 URL <a href="https://www.advantest.com/ja/investors/">https://www.advantest.com/ja/investors/</a>

代表者 (役職名) 代表取締役兼経営執行役員社長 Group COO (氏名) 津久井 幸一

問合せ先責任者 (役職名) 経営執行役員 CFO (氏名) 高田 寿子 TEL 03-3214-7500 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月1日

決算補足説明資料作成の有無:有 決算説明会開催の有無: 有

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

## (1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上	高	営業和	<b>划益</b>	税引前中	間利益	中間和	利益	親会社 所有者に帰 中間和	帚属する	中間包括合計	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	526, 733	60. 0	232, 435	145. 0	230, 517	148. 8	169, 813	144. 9	169, 813	144. 9	185, 969	229. 3
2025年3月期中間期	329, 206	51.4	94, 859	169.0	92, 645	178. 1	69, 343	167. 3	69, 343	167. 3	56, 478	26. 6

	基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	232. 19	231. 49
2025年3月期中間期	93. 92	93. 64

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	971, 541	610, 340	610, 340	62. 8
2025年3月期	854, 210	506, 539	506, 539	59. 3

## 2. 配当の状況

	年間配当金						
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭		
2025年3月期	_	19. 00	_	20.00	39. 00		
2026年3月期	_	29. 00					
2026年3月期(予想)			I	ı	_		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無:有

詳細については、本日公表の「剰余金の配当(中間配当)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業	営業利益 税引前利益 :		当期和	引益	親会社の開帰属する		基本的1株当たり 当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	950, 000	21.8	374, 000	63. 9	371, 500	65. 3	275, 000	70. 6	275, 000	70. 6	378. 06

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無:有

詳細は、添付P.3「(4)今後の見通し」および本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご 覧ください。

2. 連結業績予想における「基本的1株当たり当期利益」は、2025年9月30日現在の「期末発行済株式数(自己株 式を含む)」から「期末自己株式数」を除いた株式数を、期中平均株式数とみなして算定しております。 詳細な株式数は、※注記事項 (3)発行済株式数(普通株式)をご覧ください。

#### ※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更:無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更:無 ② ①以外の会計方針の変更 ③ 会計上の見積りの変更 :無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 2026年3月期中間期 766, 141, 256株 2025年3月期 766, 141, 256株 ② 期末自己株式数 2026年3月期中間期 38,749,080株 2025年3月期 32, 422, 231株 731, 357, 237株 2025年 3 月期中間期 738, 334, 137株 2026年3月期中間期上

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 期中平均株式数は、株式報酬制度に係る株式を考慮して計算しております。

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれておりま す。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によっ て明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、 不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

# 添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 ····· P. 2
(1)経営成績の概況 ···· P. 2
(2) 財政状態の概況 ···· P. 3
(3) キャッシュ・フローの概況 ····· P. 3
(4)今後の見通し ····· P. 3
2. 要約中間連結財務諸表および主な注記 ····· P. 4
(1)要約中間連結財政状態計算書 ····· P. 4
(2) 要約中間連結損益計算書および要約中間連結包括利益計算書 P. 5
(3) 要約中間連結持分変動計算書 · P. 6
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書 ····· P. 7
(5)要約中間連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記) P. 8
(セグメント情報) P. 8
2025年度第2四半期(中間期) 決算(連結)の概要 ······ P. 10

## 1. 経営成績等の概況

#### (1)経営成績の概況

当中間連結会計期間(2025年4月1日~2025年9月30日)の状況

(単位:億円)

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	対前年同期増減率
売上高	3, 292	5, 267	60.0%
営業利益	949	2, 324	145.0%
税引前中間利益	926	2, 305	148.8%
中間利益	693	1, 698	144.9%

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学的リスクや貿易政策の不確実性の拡大などを背景に減速が懸念されたものの、全体としては底堅く推移しました。

このような世界経済情勢のもと、半導体市場はデータセンタ向けのHPC(High Performance Computing)デバイスや高性能DRAMなど、AIの普及に関連する半導体が市場成長を牽引しました。一方で自動車や産業機器関連などの半導体需要は軟調に推移しました。

当社グループのビジネスにおいては、AI関連の高性能半導体向けテスタ需要が大幅に拡大しました。顧客からの製品納入の要請が強まる中、当社グループは、顧客の要求に最大限応えるべく、部材調達および製品供給能力の拡大に努め、タイムリーな製品納入を実施しました。

この結果、売上高は5,267億円(前年同期比60.0%増)、営業利益は2,324億円(同145.0%増)、税引前中間利益は2,305億円(同148.8%増)、中間利益は1,698億円(同144.9%増)となりました。増収に加え、高収益製品の販売比率も上昇したことなどから、いずれも中間連結会計期間における過去最高額を更新しました。当中間連結会計期間の平均為替レートは、米ドルが146円(前年同期154円)、ユーロが166円(同167円)、海外売上比率は98.3%(前年同期97.0%)でした。

セグメントの業績は次のとおりです。

当社グループは、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、報告するセグメント情報を「テストシステム事業」および「サービス他」の2つへと変更いたしました。詳細については、P.8(セグメント情報)をご覧ください。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

## <テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	対前年同期増減率
売上高	2, 846	4, 780	68.0%
セグメント利益 (△損失)	1, 023	2, 406	135.1%

当部門では、SoCテストシステムにおいて、高性能SoC半導体向けの売上が大幅に増加しました。これは、主にHPCデバイスやAI関連半導体の需要の高まりを背景に、半導体の複雑化や性能向上などがテスタ需要を牽引したことによります。一方で、自動車や産業機器関連などの成熟半導体向けのテスタ需要は軟調に推移しました。メモリテストシステムにおいては、HBM(High Bandwidth Memory)をはじめとする高性能DRAMに向けた製品販売が堅調でした。部材調達および製品供給能力の強化も当セグメントの売上拡大を支えました。

以上により、当部門の売上高は4,780億円(前年同期比68.0%増)、セグメント利益は2,406億円(同135.1% 増)となりました。 <サービス他部門> (単位:億円)

	2025年3月期 中間連結会計期間	2026年3月期 中間連結会計期間	対前年同期増減率	
売上高	446	488	9.3%	
セグメント利益 (△損失)	6	30	404.6%	

当部門では、当社グループ製品の設置台数の増加に伴い、サポート・サービスの需要が高水準に推移しました。加えて、高性能SoC半導体向けを中心としたテスト用インタフェースボードなどの消耗品販売が増加しました。一方、中長期的な競争力強化を目的とした費用を計上しました。なお、当中間連結会計期間のセグメント利益には、事業の一部譲渡による譲渡益約25億円が含まれております。

以上により、当部門の売上高は488億円(前年同期比9.3%増)、セグメント利益は30億円(同404.6%増)となりました。

#### (2) 財政状態の概況

当中間期末の総資産は、営業債権およびその他の債権が506億円、現金および現金同等物が357億円、その他の金融資産が133億円がそれぞれ増加したことなどにより、前年度末比1,173億円増加の9,715億円となりました。負債合計は、未払法人所得税が94億円減少したものの、その他の流動負債が116億円、営業債務およびその他の債務が101億円それぞれ増加したことなどにより、前年度末比135億円増加の3,612億円となりました。また、資本合計は6,103億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比3.5ポイント増加の62.8%となりました。

#### (3) キャッシュ・フローの概況

当中間期末における現金および現金同等物は、前年度末より357億円増加し、2,982億円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前中間利益2,305億円を計上したことに加え、法人所得税の支払額 (△697億円)、営業債権およびその他の債権の増加 (△461億円)、前受金の増加 (96億円)に減価償却費など の非資金項目等の損益を調整した結果、1,399億円の収入(前年同期は、929億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、171億円の支出(前年同期は、118億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出( $\triangle$ 183億円)と事業譲渡による収入(29億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、872億円の支出(前年同期は、161億円の支出)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出( $\triangle$ 700億円)と配当金の支払額( $\triangle$ 147億円)によるものであります。

## (4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境を展望しますと、暦年2025年の半導体市場は、AI関連向け半導体が市場成長を牽引するものと見ています。半導体テスタ市場においても、AI関連向け半導体のさらなる複雑化や性能向上および生産数量の増加などを背景に、テスタ需要は前年を上回る見通しです。

これらの見通しおよび当中間連結会計期間の業績進捗を踏まえ、当連結会計年度の通期連結業績予想を修正します。売上高は2025年7月時点の8,350億円から9,500億円へ、営業利益は3,000億円から3,740億円へ、税引前利益は2,970億円から3,715億円へ、当期利益は2,215億円から2,750億円へ、それぞれ上方修正します。当連結会計年度下期の業績予想の前提とした為替レートは、米ドルが140円、ユーロが155円です。

なお現時点では、関税措置による当社グループ事業および業績への直接的な影響は軽微であると考えています。しかしながら、当社グループを取り巻く事業環境は、地政学的リスク、急激な為替変動リスクなど、依然として予断を許さない状況にあると捉えております。

当社グループは、外部環境の変化に絶えず注意を払い、機敏かつ柔軟に対応するとともに、引き続き第3期中期経営計画で掲げた施策を推し進めることで中長期的なステークホルダーへの提供価値拡大に取り組んでまいります。

# 2. 要約中間連結財務諸表および主な注記

## (1) 要約中間連結財政状態計算書

		(単位:白万円)		
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)		
資産				
流動資産				
現金および現金同等物	262, 544	298, 196		
営業債権およびその他の債権	113, 031	163, 652		
棚卸資産	209, 707	210, 038		
その他の流動資産	14, 471	22, 225		
流動資産合計	599, 753	694, 111		
非流動資産				
有形固定資産	78, 602	89, 993		
使用権資産	18, 338	16, 009		
のれんおよび無形資産	78, 365	78, 617		
その他の金融資産	30, 167	43, 464		
繰延税金資産	47, 894	48, 413		
その他の非流動資産	1,091	934		
非流動資産合計	254, 457	277, 430		
資産合計	854, 210	971, 541		
負債および資本		<u> </u>		
負債				
流動負債				
営業債務およびその他の債務	107, 093	117, 179		
借入金	74, 952	74, 888		
未払法人所得税	73, 023	63, 654		
引当金	12, 454	14, 317		
リース負債	5, 046	4, 464		
その他の金融負債	5, 790	6, 443		
その他の流動負債	31, 066	42, 619		
流動負債合計	309, 424	323, 564		
非流動負債		,		
借入金	3	_		
リース負債	13, 502	11, 786		
退職給付に係る負債	17, 614	18, 045		
繰延税金負債	4, 709	5, 071		
その他の非流動負債	2, 419	2, 735		
非流動負債合計	38, 247	37, 637		
負債合計	347, 671	361, 201		
資本		001, 201		
資本金	32, 363	32, 363		
資本剰余金	46, 665	48, 354		
自己株式	△104, 193	$\triangle 173, 107$		
利益剰余金	489, 850	644, 478		
その他の資本の構成要素	41, 854	58, 252		
親会社の所有者に帰属する持分合計	506, 539	610, 340		
	506, 539	610, 340		
負債および資本合計	854, 210	971, 541		

## (2) 要約中間連結損益計算書および要約中間連結包括利益計算書 (要約中間連結損益計算書)

(単位	· ·	百.	Ħ	Ш	)
1 = 11	/ .	н.	,,	$\Box$	,

		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
	329, 206	526, 733
売上原価	$\triangle 142,209$	△191, 454
売上総利益	186, 997	335, 279
販売費および一般管理費	$\triangle$ 92, 374	△105, 868
その他の収益	671	3, 290
その他の費用	$\triangle 435$	△266
営業利益	94, 859	232, 435
金融収益	959	1, 316
金融費用	$\triangle 3, 173$	△3, 234
税引前中間利益	92, 645	230, 517
法人所得税費用	$\triangle 23,302$	$\triangle 60,704$
中間利益	69, 343	169, 813
中間利益の帰属		
親会社の所有者	69, 343	169, 813
1株当たり中間利益		
基本的	93. 92円	232. 19円
希薄化後	93. 64円	231. 49円
(要約中間連結包括利益計算書)		(単位:百万円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間利益	69, 343	169, 813
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
確定給付制度の再測定	△227	$\triangle 242$
その他の包括利益を通じて公正価値で測	△662	10, 372
定される金融資産の公正価値の純変動		10,00
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△11, 976	6, 026
税引後その他の包括利益	△12, 865	16, 156
中間包括利益	56, 478	185, 969
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	56, 478	185, 969

## (3) 要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

						\ 1 I=	2 . 11/4/1/			
		親会社の所有者に帰属する持分								
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	合計	資本合計			
2024年4月1日 残高	32, 363	45, 441	△56, 353	355, 299	54, 428	431, 178	431, 178			
中間利益				69, 343		69, 343	69, 343			
その他の包括利益					△12, 865	△12, 865	△12, 865			
中間包括利益	_	_	_	69, 343	△12, 865	56, 478	56, 478			
自己株式の取得			$\triangle 3$			$\triangle 3$	$\triangle 3$			
自己株式の処分		$\triangle 1,653$	1,891	$\triangle 48$		190	190			
配当金				$\triangle$ 13, 291		$\triangle$ 13, 291	$\triangle$ 13, 291			
株式に基づく報酬取引		1, 259				1, 259	1, 259			
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替				△227	227	_	_			
所有者との取引額等合計	_	△394	1,888	△13, 566	227	△11,845	△11, 845			
2024年9月30日 残高	32, 363	45, 047	△54, 465	411,076	41, 790	475, 811	475, 811			

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

		親会社の所有者に帰属する持分							
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	合計	資本合計		
2025年4月1日 残高	32, 363	46, 665	<u>△104, 193</u>	489, 850	41,854	506, 539	506, 539		
中間利益				169, 813		169, 813	169, 813		
その他の包括利益					16, 156	16, 156	16, 156		
中間包括利益	_		_	169, 813	16, 156	185, 969	185, 969		
自己株式の取得		△18	△70, 002			△70, 020	△70, 020		
自己株式の処分		$\triangle 410$	1,088	$\triangle 269$		409	409		
配当金				$\triangle 14,674$		$\triangle 14,674$	$\triangle 14,674$		
株式に基づく報酬取引		2, 117				2, 117	2, 117		
その他の資本の構成要素から利 益剰余金への振替				△242	242	_	_		
所有者との取引額等合計		1,689	△68, 914	△15, 185	242	△82, 168	△82, 168		
2025年9月30日 残高	32, 363	48, 354	△173, 107	644, 478	58, 252	610, 340	610, 340		

## (4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	T	
税引前中間利益	92, 645	230, 517
減価償却費および償却費	14, 258	12, 362
営業債権およびその他の債権の増減額(△は増加)	△29, 231	△46, 128
棚卸資産の増減額(△は増加)	△13, 245	1, 346
営業債務およびその他の債務の増減額(△は減少)	19, 928	9, 068
製品保証引当金の増減額(△は減少)	577	1, 845
前受金の増減額 (△は減少)	8, 159	9, 571
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47	△149
その他	1, 266	△9, 245
小計	94, 404	209, 187
利息および配当金の受取額	940	1, 273
利息の支払額	△911	△870
法人所得税の支払額	△1, 565	△69, 667
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	92, 868	139, 923
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	$\triangle 7$ , 142	△18, 303
無形資産の取得による支出	△1, 028	△1, 295
事業譲渡による収入	_	2, 902
子会社の取得による支出	△3, 815	_
その他	137	△445
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△11, 848	△17, 141
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	191	411
自己株式の取得による支出	$\triangle 3$	△70, 031
配当金の支払額	△13, 278	△14, 667
リース負債の返済による支出	△2, 684	△2, 644
その他	$\triangle 326$	△318
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△16, 100	△87, 249
現金および現金同等物に係る換算差額	<u>△4, 458</u>	119
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	60, 462	35, 652
現金および現金同等物の期首残高	106, 702	262, 544
現金および現金同等物の中間期末残高	167, 164	298, 196

#### (5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

#### (セグメント情報)

#### 1. 報告セグメントの概要

当社グループは、テストシステム製品群とテストハンドラやデバイスインタフェース等のメカトロニクス関連製品群の製造・販売を主な事業内容とし、その他にこれらに関連する研究開発および保守・サービス等の事業活動を展開しております。

当社グループの報告セグメントは、従来、「半導体・部品テストシステム事業」、「メカトロニクス関連事業」、および「サービス他」の3つを報告セグメントとしておりましたが、テスタのみならず周辺機器等を含めた包括的なテストソリューションの提供を目指す中で、マネジメントアプローチの視点により当社グループにおける収益の源泉を再分類し、当連結会計年度の第1四半期連結会計期間からは、「テストシステム事業」および「サービス他」という2つの報告セグメントへと変更いたしました。なお、前中間連結会計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。当社グループは報告セグメントと事業セグメントを同一の区分で管理しており、これらの報告セグメントは、製品と市場の性質に基づいて決定され、経営者が経営意思決定のために使用する財務情報と同様の基礎情報を用いて作成されております。

テストシステム事業部門は、SoC半導体デバイス向けのSoCテストシステム、メモリ半導体デバイス向けのメモリテストシステム、半導体デバイスをハンドリングするメカトロニクス応用製品のテストハンドラ、被測定物とのインタフェースであるデバイスインタフェースなどの製品群および半導体やモジュールのシステムレベルテストのソリューションを事業内容としております。

サービス他部門の内容は、上記の事業に関連した総合的な顧客ソリューションの提供、ナノテクノロジー関連の製品群、サポート・サービスおよび消耗品販売等で構成されております。

#### 2. 報告セグメントに関する情報

当社グループは、株式報酬費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。

株式報酬費用は、譲渡制限付株式報酬の費用であります。

報告セグメントの利益( $\triangle$ 損失)は、株式報酬費用調整前営業利益( $\triangle$ 損失)をベースとしております。 セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

(単位:百万円)

	テスト システム事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高				
外部顧客への売上高	284, 575	44, 631	_	329, 206
セグメント間の売上高	_	_	_	_
合計	284, 575	44, 631	_	329, 206
セグメント利益 (△損失) (調整前営 業利益 (△損失))	102, 308	604	△6, 794	96, 118
(調整) 株式報酬費用	_	_	_	△1, 259
営業利益	_	_	_	94, 859
金融収益	_	-	-	959
金融費用	_	_	_	△3, 173
税引前中間利益	_	_	_	92, 645

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

	テスト システム事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高				
外部顧客への売上高	477, 957	48, 776	_	526, 733
セグメント間の売上高	_	_	_	_
合計	477, 957	48, 776	_	526, 733
セグメント利益 (△損失) (調整前営 業利益 (△損失))	240, 556	3, 048	△9, 052	234, 552
(調整) 株式報酬費用	_	_	_	△2, 117
営業利益	_	_	_	232, 435
金融収益	_	_	_	1, 316
金融費用	_	_	_	△3, 234
税引前中間利益	_	_	_	230, 517

- (注) 1. 全社に含まれるセグメント利益 (△損失) への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。
  - 2. 当中間連結会計期間におけるサービス他のセグメント利益には、事業の一部譲渡による譲渡益 2,504百万円 が含まれております。

2025年10月28日 株式会社アドバンテスト

# 2025年度第2四半期(中間期) 決算(連結)の概要

**1. 損益** (単位:億円

	000455	2025年度実績						
	2024年度 実績	1 Q	2 Q	対前期 増減率	2 Q累計	対前年同期 増減率		
売 上 高	7, 797	2, 638	2, 629	A 0 20/	5, 267	60. 0%		
				△0.3%				
売 上 原 価	△3, 346	△922	△992	7. 8%	△1,914	34. 6%		
販売費および一般管理費	△1, 954	△505	△554	9. 6%	△1, 059	14. 6%		
その他の収益・費用	△215	29	1	△93.1%	30	1, 181. 4%		
営 業 利 益	2, 282	1, 240	1, 084	△12. 5%	2, 324	145. 0%		
( 売 上 高 比 率 )	(29. 3%)	(47. 0%)	(41.3%)		(44. 1%)			
金 融 収 益 · 金 融 費 用	△34	△26	7	_	△19	△13. 4%		
税引前当期利益	2, 248	1, 214	1, 091	△10.1%	2, 305	148. 8%		
( 売 上 高 比 率 )	(28. 8%)	(46.0%)	(41.5%)		(43. 8%)			
法人所得税费用	△636	△312	△295	△5. 3%	△607	160. 5%		
当 期 利 益	1, 612	902	796	△11.7%	1, 698	144. 9%		
( 売 上 高 比 率 )	(20. 7%)	(34. 2%)	(30. 3%)		(32. 2%)			

(単位	立:億円)
2025年度	業績予想
通期	対前年度 増減率
(8, 350)	
9, 500	21.8%
	-
_	_
_	_
(3, 000)	
3, 740	63. 9%
(39. 4%)	
_	ı
(2, 970)	
3, 715	65. 3%
(39. 1%)	
(39. 1%)	_
(39. 1%) — (2, 215)	_
	70. 6%

## 2. 財政状態

(単位:億円)

4 G木 1 G木 2 G木 増減率   総 資 産 8,542 8,899 9,715 9.29   親 会 社 の 所 有 者 に									2024年度 実績	2	025年度実約	漬
親会社の所有者に							4 Q末	1 Q末	2 Q末	対前期末 増減率		
親会社の所有者に	総	資		産	8, 542	8, 899	9, 715	9. 2%				
帰属する持分合計   5,065   5,742   6,103   6.39	親帰	会屋	社す	のる	所持	有分	者合	に計	5, 065	5, 742	6, 103	6. 3%

親会社所有者帰属持分比率 59.3% 64.5% 62.8% 一

## 3. 配当の状況

(単位:円)

от не по руже												•	1 1— 1 17	
ı									20	24年度実績	į		2025年度	
									中間	期末	年間	中間	期末(予想)	年間(予想)
	1	株	当	た	IJ	配	当	金	19. 00	20. 00	39. 00	29. 00	未定	未定

<sup>(</sup>注) 現時点では2025年度の期末配当については未定です。今後の業績等を勘案し、可能となった時点で速やかに開示する予定です。

<sup>(</sup>注)上段()の数値は、2025年7月29日発表時の予想であります。